



Red Hat build of OpenJDK 17

Eclipse Temurin 17.0.11 リリースノート

法律上の通知

Copyright © 2024 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

Eclipse Temurin 17.0.11 のリリースノートには、OpenJDK 17 の新機能の概要と、潜在的な既知の問題と考えられる回避策の一覧が記載されています。

目次

はじめに	3
RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック	4
多様性を受け入れるオープンソースの強化	5
第1章 ECLIPSE TEMURIN のサポートポリシー	6
第2章 ECLIPSE TEMURIN の機能	7
新機能および機能拡張	7

はじめに

Open Java Development Kit (OpenJDK) は、Java Platform Standard Edition (Java SE) のオープンソース実装です。Eclipse Temurin は、OpenJDK 8u、OpenJDK 11u、OpenJDK 17u、OpenJDK 21u の 4 つの LTS バージョンで利用できます。

Eclipse Temurin のバイナリーファイルは、macOS、Microsoft Windows と、Red Hat Enterprise Linux や Ubuntu を含む複数の Linux x86 オペレーティングシステムで利用できます。

RED HAT BUILD OF OPENJDK ドキュメントへのフィードバック

エラーを報告したり、ドキュメントを改善したりするには、Red Hat Jira アカウントにログインし、課題を送信してください。Red Hat Jira アカウントをお持ちでない場合は、アカウントを作成するように求められます。

手順

1. **チケットを作成するには**、以下のリンクをクリックします。
2. **Summary** に課題の簡単な説明を入力します。
3. **Description** に課題や機能拡張の詳細な説明を入力します。問題があるドキュメントのセクションへの URL を含めてください。
4. **Submit** をクリックすると、課題が作成され、適切なドキュメントチームに転送されます。

多様性を受け入れるオープンソースの強化

Red Hat では、コード、ドキュメント、Web プロパティにおける配慮に欠ける用語の置き換えに取り組んでいます。まずは、マスター (master)、スレーブ (slave)、ブラックリスト (blacklist)、ホワイトリスト (whitelist) の 4 つの用語の置き換えから始めます。この取り組みは膨大な作業を要するため、今後の複数のリリースで段階的に用語の置き換えを実施して参ります。詳細は、[Red Hat CTO である Chris Wright のメッセージ](#) をご覧ください。

第1章 ECLIPSE TEMURIN のサポートポリシー

Red Hat は、一部の Eclipse Temurin のメジャーバージョンをサポートします。一貫性を保つために、これらのバージョンは、Oracle が長期サポート (LTS) として指定している Oracle JDK バージョンと同様のままとなります。

Eclipse Temurin のメジャーバージョンは、最初に導入された時点から少なくとも 6 年間サポートされます。詳細は、[Eclipse Temurin のライフサイクルおよびサポートポリシー](#) を参照してください。



注記

RHEL 6 のライフサイクルは 2020 年 11 月に終了します。このため、Eclipse Temurin はサポート対象の構成として RHEL 6 をサポートしません。

第2章 ECLIPSE TEMURIN の機能

Eclipse Temurin には、OpenJDK のアップストリームディストリビューションの構造の変更は含まれません。

Eclipse Temurin の最新の OpenJDK 17 リリースに含まれる変更点とセキュリティー修正の一覧は、[OpenJDK 17 .0.11 Released](#) を参照してください。

新機能および機能拡張

次のリリースノートを確認して、Eclipse Temurin 17.0.11 リリースに含まれる新機能と機能拡張を理解してください。

XML Security for Java が Apache Santuario 3.0.3 に更新されました

OpenJDK 17.0.11 では、XML 署名の実装は Apache Santuario 3.0.3 に基づいています。

この機能強化により、次の 4 つの SHA3 ベースの RSA-MGF1 **SignatureMethod** アルゴリズムが導入されました。

- **SHA3_224_RSA_MGF1**
- **SHA3_256_RSA_MGF1**
- **SHA3_384_RSA_MGF1**
- **SHA3_512_RSA_MGF1**

更新リリースで **javax.xml.crypto.dsig.SignatureMethod** API を変更して新しいアルゴリズムに定数値を提供するため、これらのアルゴリズムには次の同等の文字列リテラル値を使用します。

- <http://www.w3.org/2007/05/xmldsig-more#sha3-224-rsa-MGF1>
- <http://www.w3.org/2007/05/xmldsig-more#sha3-256-rsa-MGF1>
- <http://www.w3.org/2007/05/xmldsig-more#sha3-384-rsa-MGF1>
- <http://www.w3.org/2007/05/xmldsig-more#sha3-512-rsa-MGF1>

この機能強化により、**ED25519** および **ED448** 楕円曲線アルゴリズムのサポートも導入されます。これは、Edwards-curve Digital Signature Algorithm (EdDSA) 署名方式です。



注記

アップストリームコミュニティバージョンの Apache Santuario 3.0.3 とは対照的に、JDK は引き続き **here ()** 関数をサポートしています。ただし、**here ()** 関数の将来のサポートは保証されません。新しい XML 署名で **here ()** を使用しないでください。また、現在 **here ()** を使用している XML 署名を更新して、この関数の使用を停止する必要もあります。**here ()** 関数はデフォルトで有効になっています。**here ()** 関数を無効にするには、**jdk.xml.dsig.hereFunctionSupported** システムプロパティが **false** に設定されていることを確認します。

[JDK-8319124 \(JDK バグシステム\)](#) を参照してください。

jspawnhelperの indefinite のハングを修正しました。

以前のリリースでは、JVM と **jspawnhelper** プロセス間のハンドシェイクが正常に実行される前に親 JVM プロセスが失敗した場合、**jspawnhelper** プロセスは無限に応答しなくなる可能性があります。

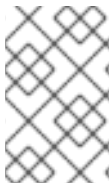
OpenJDK 17.0.11 では、親プロセスが早期に失敗した場合、**jspawnhelper** プロセスは通信パイプから終了ファイル(EOF)シグナルを受け取ります。この機能拡張は、**jspawnhelper** プロセスが正常にシャットダウンされるようにするのに役立ちます。

[JDK-8307990 \(JDK バグシステム\)](#) を参照してください。

SystemTray.isSupported () メソッドは、ほとんどの Linux デスクトップで **false** を返しません。

OpenJDK 17.0.11 では、**SystemTray API** を正しくサポートしていないシステムでは、**java.awt.SystemTray.isSupported ()** メソッドは **false** を返します。この機能拡張は、**SystemTray API** 仕様に準拠しています。

SystemTray API は、システムデスクトップのタスクバーと対話して通知を提供します。**SystemTray** には、アプリケーションを表すアイコンが含まれている場合もあります。基盤となるプラットフォームの問題により、タスクバーアイコンの GNOME デスクトップサポートが数年間正しく機能しませんでした。このプラットフォームの問題は、GNOME デスクトップで **SystemTray** サポートを提供する JDK の機能に影響します。この問題は通常、GNOME Shell 44 以前を使用するシステムに影響します。



注記

正しい **SystemTray** サポートがないため、一部のシステムではこの API 拡張機能が長時間続いたため、影響を受けるシステムで **false** を返すことは、ユーザーに最小限の影響を及ぼす可能性があります。

[JDK-8322750 \(JDK バグシステム\)](#) を参照してください。

特定のルート証明書 R1 および E1 ルート証明書が追加される

OpenJDK 17.0.11 では、**cacerts** トラストストアに 2 つの Certainly ルート証明書が含まれています。

証明書 1

- 名前：特定の名前
- エイリアス名：certainlyroot1
- 識別名：CN=Certainly Root R1, O=Certainly, C=US

証明書 2

- 名前：特定の名前
- エイリアス名：certainlyroote1
- 識別名：CN=Certainly Root E1, O=Certainly, C=US

[JDK-8321408 \(JDK バグシステム\)](#) を参照してください。

改訂日時: 2024-04-27